

訓 示

皆さん、明けましておめでとうございます。

令和7年、新春を迎え、今ここに伝統ある下川消防出初め式を厳粛かつ盛大に挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ご来賓の皆様方におかれましては、本日貴重なお時間をさいてご臨席賜りましたこと、また、消防団活動に対し多大なるご配慮、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

また、消防団員並びに消防職員の皆様方には常日頃から地域住民の生命・身体・財産を守るため、火災を始め、あらゆる災害に対し昼夜を分かたず献身的に精励されておりますことに対し心より敬意と感謝の意を表す次第であります。

さらには、本日表彰を受けられた団員の皆さんには心からお祝い申し上げます。

この度の受賞は永年の消防団活動にご尽力された賜物であり、今後も引き続き、より一層のご精進をお願いするものであります。

さて、昨年は本町で第53回北海道消防協会上川地方支部名寄分会、消防総合訓練大会が開催され、日頃の訓練成果を披露し盛会のうちに無事終了することができました。

あらためて関係各位のご協力とご支援に感謝とお礼を申し上げます。

災害状況を振り返りますと、7月に下川町で1件火災が発生し、消防団もこれに出動し消火活動にあたりました。幸いにも住宅に延焼せずに消火することができましたが水利不足という課題も残る事案でありました。また、全国では1月1日の元旦に石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測する地震により、火災や建物倒壊によって多くの尊い命が奪われ甚大な被害をもたらしました。

そして八か月後の9月にも豪雨災害が発生し、さらに被害が拡大しました。

発災から1年が過ぎても尚、未だに断水が続いている地区もあります。

この災害によりお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

近年、大規模な地震や大型台風、線状降水帯による記録的豪雨、大雪など様々な自然災害が各地で発生しており、道内においても7月には前線をともなった低気圧が北海道付近を通過し、上川地方をはじめ広範囲において記録的な大雨となり床上浸水や床下浸水、河川の溢水、農地冠水など大きな被害をもたらしました。

こういった災害が、わが町下川町にも起こらないとは言えず、地域住民の最も身近な存在である我々消防団が地域防災の要となるべく、日頃からの備えをしていかななくてはなりません。

「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に消防職・団員の皆様には今後とも町民が安全で安心して暮らせる「下川町」の実現のためにより一層のご尽力をお願いいたします。

一方、消防団員の減少が地域における消防力の低下として、全国的に危惧されているところであり、本町におきましても団員の確保が課題となっております。

そのような現状を踏まえ、フェースブックやインスタグラムなどのSNSを通じて各種行事や訓練の様子を町民に向けて発信し、消防団活動への理解向上や若者に向けたPRの場となることを目指していきます。

結びとなりますが、団員を常日頃から支えてくださいますご家族、関係団体の皆様に深く感謝申し上げますとともに、令和7年ここ下川町が無火災・無災害で平穏無事な1年となりますことと、本日ご臨席の皆様方のご健勝・ご活躍を心からご祈念申し上げまして下川消防出初め式の訓示といたします。

令和7年1月12日

下川消防団 団長 大西 功